



全部読んだ...?



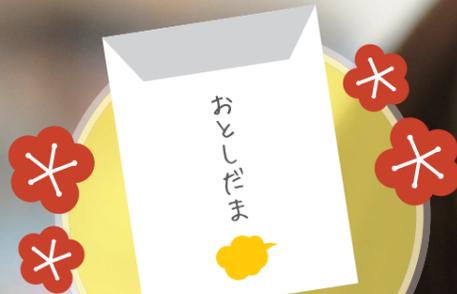
cybozu.com

サービスに関するお問い合わせは、弊社ホームページへ
<https://kintone.cybozu.com/>

表紙と裏表紙のインコ: 山口さんの家のKicco
Copyright(c) Cybozu, Inc.

cybozu.com

何かな...?
小松菜かな...?



特別サービス
お年玉ふるく入り

特集 徹底解説

kintone 最新アップデート
3つのポイントをご紹介

新連載 北Pの たのしいkintoneカスタマイズ
あーみんのkintone情報局
ほか



第一回 kintone AWARD
グランプリ決定!



2015年10月15日開催
kintone VOL.2 開催レポート

みんなのキントーンライフを応援する情報誌

キントーン

kintone

MAGAZINE

kintone 新デザインのメリットを

徹底解説



2014年11月にリリースした新デザイン(β版)が、2016年1月のアップデートより正式版としてリリースいたします！そこで、今回はkintone 新デザインのメリットをしっかりとご紹介したいと思います。

なお、今後は下記スケジュールにてすべてのお客様に適用になります。この機会にぜひ新デザインをご利用ください。

新デザイン適用までのスケジュール

- 2016年 1月

新規に試用を開始した環境での初期設定を新デザインに変更
- 2016年11月

すべての環境のデザインが新デザインに切り替わります
※引き続き旧デザインを選択することも可能です。
- 2017年 2月

旧デザインの利用停止
※旧デザインでご利用いただいていた場合、自動的に新デザインに切り替わります。

新デザインの狙いとメリット

文字データがより見やすく、操作も標準化されたシンプルなデザインへ。



チームワークプラットフォーム

チームワーク効果を生み出すシステムを、ファストに開発することが出来る基盤

文字データの強調と視認性の向上

新デザインでは、旧デザインよりも文字データを読みやすく強調し、全体のコントラストを調整して視認性の向上を実施いたしました。

ポータル画面



レコード一覧画面



操作ルールの標準化

旧デザインでは「書き込む」等のボタンの位置が統一されていませんでしたが、新デザインでは「書き込む」「保存」「削除」などのボタンを全て右に統一し、操作ルールを統一しました。



その他、詳細は下記URLをご覧ください。

<https://kintone.cybozu.com/jp/feature/whatsnew/2016-01.html>

kintone hive VOL.2

kintone活用のアイデア交換が可能な場所として企画されたユーザーズイベント「kintone hive」の第二弾が、2015年10月15日に東京・日本橋で開催されました。

今回は、前回好評だったユーザー事例発表のほかに新たに創設された「kintone AWARD」を実施。一橋大学大学院の楠木 建教授、納品のない受託開発という新たなビジネスモデルを打ち出している株式会社ソニックガーデン 倉貫 義人代表、そして企業ICTとイノベーションを研究している日経BP イノベーションICT研究所の桔梗原 富夫所長を審査員にお迎えし、kintone を活用したきらりと光る優れた取り組みを幅広く表彰しました。

今回はそんな第2回 kintone hive の様子をお伝えします。



基調講演 イノベーションの本質

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科
楠木 建 教授

最初に登壇した一橋大学大学院 国際企業戦略研究科の楠木建教授は、「イノベーションの本質」と題して、自身の研究テーマであるイノベーション論について展開しました。kintone自体がイノベーションであり、イノベティブな使い方をユーザーにもたらしていると語りながら、「では、一体何がイノベーションなのか」と会場に質問を投げかけ、様々な例を紹介しながら「イノベーションを進歩と勘違いしているのではないかと提起。

イノベーションは、単に「変化」「新しいこと」ではなく、ドラッカーの言葉を借りれば「社会を変える」こと。大衆に受け入れられるために商業化されていることが重要で、経済的な視点からは「非連続性がイノベーション足らしめているもの」であり、「パフォーマンスの次元が変わること」がイノベーションの本質だと説きます。



ここで、フィルムとは違い簡単に消去できることで日常の記録に使うという新たな価値をカメラに与えたカシオのEXILIMや19世紀に刈り取り機を発明したハイラムムーアが起こした「分割払い」の考え方などを紹介した上で、イノベーションが成功すると新たなカテゴリを生み出すことに繋がると説明しました。

また、数字などで推し量れないイノベーションを嫌う経営層や株主の特性を紹介し、「価値の次元が見えすぎると、進歩にしか向かわない」という“可視性の罠”についても解説。最後に、インセンティブである誘因ではなく、内発的な動機となる動因がイノベーションには不可欠だと締めくくりました。



kintone AWARD ファイナリスト講演

kintone AWARD Finalist No.01

Beyond the Impossible 92年目のガテン系組織“スマートガテン化”への挑戦

kintone AWARDのファイナリスト1組目として登壇したのが、水処理や井戸の掘削など、水と空気に関連したサービスを提供している中島工業株式会社 BI部 リーダーの普天間 大介氏です。

同社では、品質の高いサービスを提供するため、100名規模の会社で14ヶ所の拠点を持つ超分散型の組織でビジネスを展開しています。「分散型だからこそ情報共有が生命線であり、老舗故に社内にはノウハウとなる宝の山が眠っています」と普天間氏。そこで作業の標準化を推進するなかで“スマートガテン化”を実施すべく、kintoneを活用。基本機能を使いながら完璧よりも早期のリリースを目指し、自社の強みは譲らないという3つの開発方針を決め、結果として3ヶ月で80を超える基幹業務アプリを制作することに成功したそうです。早期リリースすることで現場が炎上することもありましたが、現場と一緒に作り上げていくことで必要性和利益実感をもたらす努力を続けていったと普天間氏は語ります。使用開始から1ヶ月あまりで300件の情報共有が行われ、社員からはシステムではなく「kintone」と呼ばれるまでになったそうです。

参加型システムの強みを会場にアピールしながら、普天間氏が掲げる不可能を超えること(Beyond the Impossible)が実現できるシステムだと仰っていただきました。



中島工業株式会社
BI部 リーダー
普天間 大介 氏

グループ70社の事業を支える “大統領ボタン構想”

続いて登壇したファイナリストは、株式会社サイバーエージェント 内部監査室 マネージャーの鹿倉 良太氏。グループのガバナンスをコントロールする内部監査室に勤務しながら、システムの導入や業務の効率化を推進する役割も負っており、現在は決算の早期化と経理や人事などバックエンド業務のシステム化を強気に押し進めています。このバックエンド業務のプロセス作りにkintoneを活用しており、「一言でいうとボタン1つで決算が完了してしまうプロセスを構築する」ことを目指した“大統領ボタン構想”と呼ばれるプロセス作りに取り組んでいるそうです。

具体的には、広告代理店向けの販売管理システムやゲーム事業向けの実績管理アプリ、メディア向けの実績管理といった、販売や売上を管理する「DOX」と呼ばれるアプリ群を、kintoneを活用して構築しています。その結果、バックエンド業務に関わる人員数を維持したまま会社数の増加にも対応できる環境を整えたことで、年間1万時間の削減を達成。「one fact one time」というキーワードで開発を進めており、「真実は1つしかないのでプロセスの中で情報はこね回さない」という思想を持ちつつ、バックエンド業務を管理するのではなく“業務をなくしてしまう”ということを目指して開発を進めていくと今後の展開を語っていただきました。



株式会社サイバーエージェント
内部監査室 マネージャー
鹿倉 良太 氏



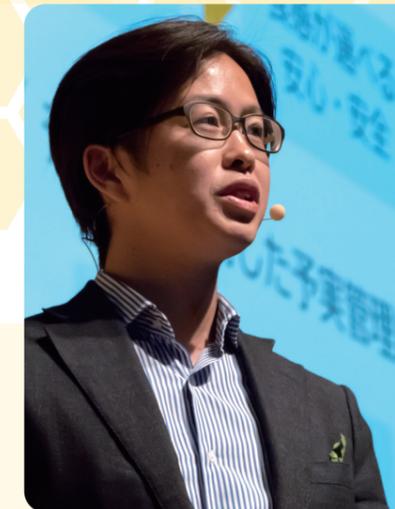
地域農家横断バリューチェーンを 推進する

最後のファイナリストはノーリツ鋼機の社内ベンチャーとして起業したNKアグリ株式会社 代表取締役社長 三原 洋一氏です。形や大きさなど既存の規格にとらわれることなく、食感や安心・安全を念頭においた農業に取り組んでおり、センサーを使ってKPIを設定するなどデータを利用した予実管理にも力を注いでいます。現在は、集約型の植物工場でレタスを作るだけでなく、季節による旬を逃さぬよう地域をつないで1つのバリューチェーンを作り出すなど、新たな農業



の形を目指しているそうです。そんな同社では、地域ごとに生産者である農家と契約しているため、12名しかいない社員全員が全国を飛び回って日々の業務を行っており、業務フローや情報共有などに課題がありました。

そこで、まずは決裁業務のためにわざわざオフィスに出向く手間を解消するために、三原氏自らの手でkintoneを使って承認プロセスアプリを作りました。すると、他部門からもkintoneを活用したいというオファーが殺到することに。現在は、売上速報や収穫実績、産地報告など3ヶ月で約40を超えるアプリが作られており、「まさにファストSIのよさがでていた」とお話しいただきました。そして販売量の予測精度が向上した結果、植物工場のロスが劇的に減るといった大きな効果も得ることができたそうです。今後は社内で起きた素晴らしい体験を、一緒に取り組んでいる農家とも共有することを目指していると熱く語り講演を締めくくりました。



NKアグリ株式会社
代表取締役社長
三原 洋一 氏

ユーザー事例発表



kintone×KOTOBUKI 業務のマニュアル化

株式会社コトブキ 設計部
高松 雄作 氏

続いてユーザー事例発表1社目は、株式会社コトブキ 設計部の高松 雄作氏が登壇し、kintoneによって業務改革を実現した活用例についてお話しいただきました。“パブリックスペースを賑やかにすることで人々を幸せにする”ことを目的に、公園をはじめとしたパブリックスペースの遊具や案内標識などを提供している同社。東北復興の需要によって受注が膨らみ、設計部門が残業過多に陥ったそうです。「営業部門から設計部門に転属してきたのですが、残業の多さを目の当たりに。2020年のオリンピック需要も考えると、何かしらの対策を今から検討する必要があると考えたのです」。

そこで新たに第二設計室を設置し、カンボジアへ設計のBPOを実施。ここで、メールやFAXの代替えとなる外部発注用アプリとしてkintoneを活用し、情報共有が円滑に行えるようになりました。さらに、ノウハウを持っているシニア社員から情報を吸い上げるべくkintoneを活用したことで、業務の流れが可視化でき、作業負荷の把握が容易になったそうです。

「kintoneは、ちょっとしたことから始めることができ、ノウハウの蓄積や企業間での運用も可能。そして何より失敗できるのがkintoneのよさ」と高松氏はその魅力について語りました。





おばけExcelをkintoneに 属人化を解消

三井化学株式会社
松田 正太郎 氏

続いて事例発表として登壇したのが、三井化学株式会社の松田 正太郎氏です。松田氏はすでにユーザー同士の中でkintoneのエバンジェリスト的な役割を担っている存在。そんな松田氏が今回紹介したのは、同社と出光興産のジョイントベンチャー企業で活用している活用例です。双方の親会社から出向している人が多く、社員コードなどそれぞれ異なる体系で個別に管理されており、社員台帳管理や異動履歴管理、労務費管理など社員の管理をうまく行う必要がありました。「従来は担当者1名の属人化した方法で管理されており、複雑怪奇な“おばけExcel”で運用されていました」と松田氏は振り返ります。これを解消するべくkintone上に社員マスタや組織マスタを作成し、既存のDBと連携させ社内業務ポータルなどで活用する仕組みを構築。「アプリ開発は超スピードで行うことができ、シンプルで優しいUIで人事担当者にも満足いただいている。業務ポータル連携も実現し、情報共有も可能になりました」。ただし、既存のおばけExcelからkintoneにデータ登録するところは手作業で非常に苦労したと松田氏は振り返ります。最後に、「kintoneは情報システム部門の救世主になるはず。ノウハウや事例を共有し、ディスカッションできる場がこのkintone hive。ぜひユーザー同士で繋がっていきましょう」と会場に呼びかけました。

kintone hack

kintoneを取り扱うデベロッパーによるライトニングトーク



“だけじゃない”kintone

アールスリーインスティテュート マネージャー
金春 利幸 氏

クラウドサービスなどのプラットフォームを利用して“ハイスピードSI”を提供し、サイボウズ公認kintoneエバンジェリストとしても活躍しているアールスリーインスティテュート マネージャー 金春 利幸氏が昨年に引き続き登壇し、“だけじゃない”kintoneと題して同社が開発した事例をレベル別に紹介。具体的には、明細ごとに自動連番する機能やチャットツールに通知を行うようなカスタマイズを施した経費精算アプリをはじめ、生産前工程の状況をkintoneに入力し、特定のロジックに基づいて遅延しているかどうかの情報を積極的に“見せる化”した事例、kintoneとオープンソースのETLツールを連携させ、基幹システムでの入力を省力化させた事例などを紹介しました。

他にも、様々なシステムから抽出されたExcelやCSVなどをkintoneのインポート機能で収集、集計を実施する活用例を紹介し、「1度ボタンを押すとAPIを1万回以上呼び出すというもので、サイボウズさんに怒られています」と説明し、会場の笑いを誘いました。そして最後に、kintoneの開発プラットフォームをサービスとして提供する「gusuku」を紹介し、プレゼンを締めくくりました。



kintoneプラグイン とことん紹介

株式会社ジョイゾー 代表取締役
四宮 靖隆 氏

続いて、日本初の定額制来店型システム開発「システム39」を商品化し、現在は“ミスターkintone”としてkintone案件を数多く手掛けている株式会社ジョイゾー 代表取締役 四宮 靖隆氏が登壇。同社で開発した様々なkintoneプラグインを、事例を交えながら詳しく紹介しました。四宮氏は「管理画面から設定可能で、設計変更への柔軟に対応できる



だけでなく、複数アプリで利用できるのがプラグインのメリット」と力説。実際に紹介したプラグインは「自動採番」「サブテーブルサムアップ」「ルックアップ一括更新」などで、実際のデモを交えながらどのように活用できるのか、その動きをわかりやすく紹介していました。

また前回のkintone hiveで「kintone PMから作ってくださいと“無茶ぶり”された」と経緯を語りながら、会場で要望の多かったkintone化デデ工化プラグイン第2弾「ユーザー／組織別一覧初期値設定」機能を期間限定で無償公開することを発表し、会場を驚かせました。*プラグインの無償公開期間は終了しています。



kintoneで、ロボット操作！ kintone×Pepper活用事例

M-SOLUTIONS株式会社
植草 学氏

最後は、CYBOZU AWARD 2015にて部門別賞を受賞したM-SOLUTIONS株式会社の植草 学氏が登場。kintoneで感情認識パーソナルロボット「Pepper」を操作する活用事例を紹介しました。まずは話す・見せる・動くといったコミュニケーションが得意なPepperの特徴について振り返りながら、店舗やショップなどでの活用例を披露。また、同社が提供する業務支援サービス「Smart at」とkintoneを連携させ、受付で会社説明をさせるなどの事例にも触れました。「QRコードをかざすとお客さまの名前を呼ぶという仕組みを導入したところ、QRコードの発行枚数が11倍に伸びたという例も」とその効果を力説。他にも子供向けの教育アプリやイベント事例などPepperの具体的な活用方法をわかりやすく解説していました。kintone連携については、書き込みと読み込みのアプリを無償公開しており、ノンプログラミングで開発できるようなソリューションを提供している植草氏。kintone上で設定し、話す内容を入力するだけでPepperが動かせるサービスを月額3.8万円で提供していることにも触れながら、デジタルサイネージとの連携など今後の方向性についても語りました。



kintone AWARD 審査結果 中島工業株式会社 が 第1回グランプリに決定



今回新たに創設されたkintone AWARDにおいて、中島工業株式会社の普天間氏が栄えあるグランプリを獲得しました。審査委員長の楠木教授からトロフィーと目録を授与された普天間氏は「システムは本来人間を幸せにするもの。やっと体现できるシステムに出会えたことがうれしい」と受賞の喜びを語っていただきました。なお、サイバーエージェントの鹿倉氏と、NKアグリ三原氏はそれぞれ特別賞を受賞しました。

次回 kintone hive vol.3 もお楽しみに！





あーみんの 第2回 kintone 情報局

みなさん、明けましておめでとうございます！
2016年の抱負は「親孝行」と「人見知りの改善」に決めました、
kintone プロモーション担当のあーみんです。
今回は「今日から使えるkintone 小ネタ」と題しまして、
ちょっとした設定で便利に使える
kintoneの「ワザ」をご紹介します。

レコードを登録するときに、そのレコードを見られるユーザーを指定する方法

kintoneはアクセス権を設定することで、ユーザーごとに閲覧/編集できるアプリやフィールドを制限することができます。例えばお客様の個人情報扱う顧客管理アプリは営業部のメンバー以外見られないようにしたり、社員名簿の内容は人事部と本人以外、他のメンバーは見られないようにしたりすることができます。ところで、この機能レコードを登録する時に都度閲覧できる人を選ぶことができれば、活用の幅が広がりますよね。というわけで、今回は【レコード登録/編集時に閲覧できる人を選ぶ設定方法】をご紹介します。

01 フォームの編集画面で「ユーザー選択」を追加して、フィールド名を「閲覧権」など分かりやすいものにします



02 管理画面右下の「アクセス権」メニューの中にある「レコード」をクリックします



03 レコードの条件は「すべてのレコード」、ユーザー/組織/グループとアクセス権は「フォームのユーザーフィールドを追加」から先ほど追加した「閲覧権」を選びます



04 追加された「閲覧権」の許可する操作に閲覧、編集、削除など任意のアクセス権を設定します。下の「Everyone Group」はすべてのチェックを外します。



あとは設定を保存すれば完了です！

これで、レコードを登録/編集する画面でそのレコードを見られる人を選ぶことができます。用途によってはとっても便利に使えるので、ぜひとも皆さまの環境でもお試しください！

▼ その他の小ネタは kintone hive online で色々ご紹介しています！

<http://kintone-blog.cybozu.co.jp/>



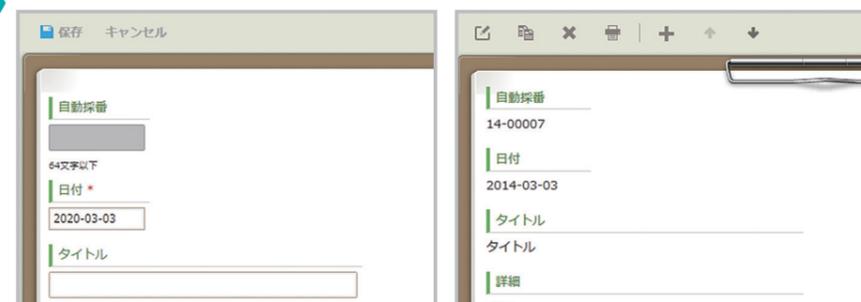
カスタマイズマスター 北Pの

たのしい kintone カスタマイズ

はじめまして。サイボウズのシステムコンサルティング部で主にkintoneのカスタマイズを世に広めている北P(きたぴー)です。kintone カスタマイズは得意ですが、スタバのカスタマイズは勇気が無くてなかなかできません。このコーナーでは、そんな北Pが、kintoneのおすすめカスタマイズをご紹介します！

おすすめ
カスタマイズ
その1

年次ごとの自動採番

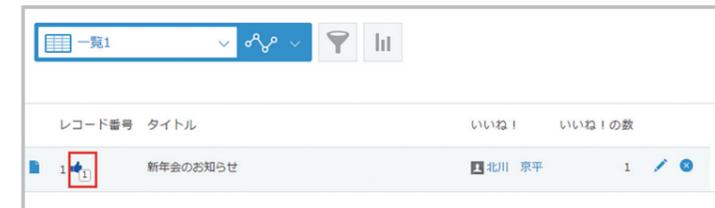


新年あけましておめでとうございます。新年といえば年次が変わりますね。年次ごとに自動採番できたらとても便利だと思いませんか？便利ですよ！そんな気持ちに共感して頂ける方へお届けするTipsです。

このカスタマイズの詳細 <https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/201235480>

おすすめ
カスタマイズ
その2

いいね！プラグイン



スペースやメッセージで押せる、いいね！機能を「アプリ内でもつかいたい！」ということはありませんか？そんなあなたにお届けするプラグインがこちら。今日からすぐに使うことができますよ！

このカスタマイズの詳細 <https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/203711920>

いかがでしょう。今よりもっと便利に kintone を使えそうな気がしますよね。cybozu.com developer networkではほかにもさまざまなカスタマイズをご紹介します。ぜひ一度サイトの方も見てみてください。それでは、また！

cybozu.com
developer network

<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja>

※kintone のカスタマイズはスタンダードコースご契約中のお客様のみご利用いただけます。